萩ガラス工房有限会社

設備投資のみ
【対象類型】デザイン、精密加工

体験型観光客の受け入れの効率化を目的としたレーザー加工機の導入

近年の観光の動向として体験型観光が脚光を浴びている。そのような中で、ガラス彫刻体験も人気のカテゴリーとなりつつあるが、一定の時間を要するため、ツアー等の時間制限がある観光団体客への対応は難しかった。その課題を解決するためレーザー加工機を導入し、観光団体客の受け入れの効率化を実現した。



本事業への取組みの経緯

当社は元々海外で人気のあった体験型の観光からヒントを得て、創業当初から萩ガラス体験教室（①宙吹きガラス体験、②ガラスアクセサリー制作体験、③ガラス彫刻体験）を開催し、観光客から人気を集めてきた。

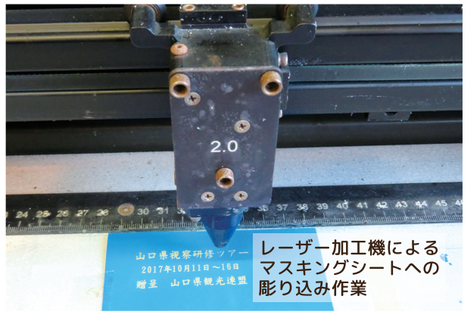
近年では、体験型観光への関心の高まりから、体験教室への申込者が増加している。体験教室のなかで希望者の多いガラス彫刻体験については、所要時間が平均で70分～ 90分の時間を要し、ツアー等の時間制限のある団体観光客に対する企画としては不向きで、体験希望があっても断ってきた経緯があった。そこで体験教室の所要時間短縮を図るため、新たな設備導入を決意した。


萩ガラス工房の製品

● 代表取締役：藤田 洪太郎
● 設立：平成４年８月14日
● 〒758－0011　山口県萩市大字椿東1189－453
● TEL：0838－26－2555　● FAX：0838－26－2666
● URL：http://www.hagi-glass.jp/
● E-mail：fujita1189@hagi-glass.jp
● 資本金額：2,000万円　● 従業員数：９人
● 業種：窯業・土石製品製造業

会社概要

当社は、椿原生林と玄武岩で有名な「萩市・笠山」にあるガラスの工房で、ここでしか採掘されない石英玄武岩を原石から精製する独自技術・手法でのガラス造りを行っている。淡い緑色の玄武岩ガラス、３層構造で内側にヒビを封じ込めた内ヒビ貫入ガラスのほか、マンションや一般住宅のインテリアをはじめ、各種モニュメント・外装用のガラス・モザイクタイルなど幅広い分野のガラス製品を取り扱う。国内でここにしかない「オンリーワン」&「確かな品質」を常に心掛け、日々新たな取り組みに挑戦し続けている。



レーザー加工機による
マスキングシートへの
彫り込み作業

本事業実施の内容

観光客のニーズが高い、サンドブラスト手法によるガラス彫刻体験の体験所要時間を短縮することに主眼を置き本事業の実施を行った。

**サンドブラスト手法による
ガラス彫刻体験の作業工程**

① マスキングシート上にオリジナル絵柄をマーキングする
② カッターナイフで絵柄を切り抜く
③ ガラスに絵柄を貼り付ける
④ 高圧の空気と砕石の粉を吹き付けて、すりガラス状態とする
⑤ 水洗いしてシートを剥がすとオリジナル絵柄が完成する

このガラス彫刻体験の作業工程のなかで、最も時間を要していた②の工程について、本事業の実施前は自動カッティングシート機器を導入し作業時間の短縮化を図っていた。

しかしながらこの機械では大まかな絵柄については対応が可能であったが、複雑かつ微細な絵柄や模様については対応が難しく、この課題を克服し更なる作業時間の短縮を図ることが顧客ニーズに応えることだと考え、新たにレーザー加工機を導入した。



レーザー加工機
（ユニバーサル社製 ＶＬＳ３．６０-３０）

事業取組の成果

今回導入したレーザー加工機は、国内で印章・ゴム印製作用として、一般に用いられているもので、操作性も簡単でガラス工芸の用途利用に優れている。レーザー加工機の導入により、パソコンで絵柄や模様といった図案を取り込むことで作図されたマスキングシートが完成する。これにより、複雑かつ微細な絵柄、模様、文字に至るまで対応が可能となり、作業時間についても短縮化が図れた。

この成果を受け、ガラス彫刻体験について今まで時間制約があり対応が難しかった団体観光客についても受け入れ可能となった。その効果もあり現在体験教室全体で年間１万人程度の利用客を確保するまでに至っている。

また、従前は自社所有のカッティングシート機器での作図が困難な微細で複雑な図案については全て外注に頼っていたが、レーザー加工機の導入で内製化が可能となり、納期短縮業務改善にも繋がった。

今後の展望


代表取締役：藤田 洪太郎

国内で唯一採掘できる石英玄武岩と自社の高い技術力を背景に、常に高みへと挑戦しつづける姿勢や徹底した品質へのこだわりが、新たなる独創的な製品開発への可能性を開くと考えている。この度のレーザー加工機の導入は、当社が発展する一つのステップとして捉え、高付加価値で独創的な製品を世に送り出していきたい。

また、当社製品の質の高さが認められ、JR西日本が運行する「瑞風」の車内備品として採用されており、更には平成30年３月からは車内販売も行われる予定となっている。